京都着物企画

サークル万華鏡

みなさん着物を着たことはありますか？　七五三や成人式など特別な日に着る機会はあっても、普段の生活で着ることはあまりないのではないでしょうか？　今回は着物をはじめとした和文化の継承を目的にイベントを企画・運営するサークル「京都着物企画」（以下、着物企画）に取材をおこないました。実際に活動の様子を見学し、部員の方々にお話を伺うことで見えてきた、着物の魅力やサークルならではの雰囲気をお届けします。　（聖龍・もち）



▲京都市植物園にて。

着物企画は2001年に活動を開始し、若者の着物離れや伝統文化離れが進む現代において、若者をメインターゲットとし、同じ世代の視点から着物や和文化の魅力を学び、発信することを活動理念としています。実際に着物を着る体験やイベントを通して、その楽しさや奥深さを発信し、着物や和文化を「難しいもの」ではなく、身近で親しみやすい存在として伝えることを目指しています。

毎週月曜日の放課後に文学部校舎で定例会議をおこない、活動内容や今後のイベントについて話し合っています。休みの日には自分たちで企画したイベントを実施するほか、他団体が企画したイベントへも参加し、積極的に知識や経験を深めています。



▲定例会議の様子。

はみだしすてーじ

NFの準備頑張ったけど、まさかインフルで参加できませんでした
⇒同じくインフルにかかり、３日目から遅れて参加しました。　（理・２　U）

（熱が40度を超えて死ぬかと思いました；編）

着物企画の活動

～着物文化の継承～ Kistory

現在、日本中で長い間着られていない着物が数えきれないほど眠っています。「親から譲り受けた着物だから……」、「自分で一から仕立てた着物だから……」、着物に込められた想いを大切にしながら次に着てくれる方へと受け継ぎたい、そんな想いから着物譲渡会としてKistoryがはじまり、現在は着付け教室も同時開催しています。KistoryとはKimono+historyの造語です。

着物譲渡会

日本全国から寄付していただいた着物や和装小物を無料で譲渡しています。昨年度は12月に京都市左京東部いきいき市民活動センターで７時間にわたっておこなったほか、他団体主催のイベントでもブース出展をおこない着物を譲渡しました。

着付け教室

「着物に興味はあるけど、着方がわからない……」という方にも着物を身近なものとして感じてもらうために着物企画のメンバーが実演したり、譲渡会で選んでいただいた着物を実際に着付けしたりといった活動をおこなっています。Kistory以外でも留学生の寮での着付け教室を実施しました。





▲2025年12月に実施したKistoryの様子。

着物図鑑

京大生をモデルに、着物を着て京都各地で撮影した写真をまとめた写真集「京大着物図鑑」を製作し、NFなどで販売しています。着物の魅力やあまり知られていない京都の穴場スポットの魅力を発信しています。



▲2023年に発行された京大着物図鑑。

はみだしすてーじ

餅は地味に、そして確実に太ります。
⇒同じ時期に筋トレを始めたおかげで何とか耐えました。

（医・１　小学生に連敗中）

（そうは言っても油断は禁物です；編）

体験型和文化フェス　着京祭（きぎょうさい）

着京祭（きぎょうさい）は、若者にとって遠い存在になりつつある着物や和文化をより気軽に楽しんでもらうことを目的としたイベントです。2025年は９月13日に平安神宮前岡崎公園を貸し切って実施しました。

飲食ブースやステージ企画など、着物や和文化に詳しくない人でも立ち寄りやすいコンテンツを入り口としながら、会場内では和文化体験ブースや着物の無料譲渡会、着物ファッションショーなどを実施し、「見る・着る・体験する」を通して、着物の魅力に触れることのできる構成となっています。

また、京都市内の着物店や和文化関連企業、大学・専門学校の学生と連携して運営する点も本イベントの大きな特徴です。

着物ファッションショー









着京祭の目玉イベントは、着物ファッションショーです。2025年のテーマは「毎日を彩る着物」。友人・恋人とのお出かけやカフェ巡りなど、日常の場面に合わせた着物コーディネートを提案することで、着物の魅力を知ってもらうという目標から一歩踏み込み、「若者に実際に着物を着てほしい」という思いを込めたテーマになっています。

使用する着物は、着物企画が所有するものに加え、京都市内の着物店の方々に貸し出していただいています。モデルは公募をおこない、着物企画のメンバーが中心になってオーディションを実施し、ウォーキング指導の講師の方のご指導も受けながら練習会を重ねて本番に臨みます。学生ならではの感性で表現する着物の魅力が詰まったショーです。

飲食ブース



京大カレー部をはじめとしてさまざまな学生団体、企業がお祭りならではの飲食屋台を出店！
訪れた人が思わず足を止めたくなるような、多彩なメニューが並びます。

和文化体験ブース



華道や茶道をはじめとする伝統文化を実際に体験できるブースが数多く出店！　和小物の販売や先ほど紹介した着物譲渡会もあり、気軽に日本文化の魅力に触れることができます。

ステージ企画



2024 年の着京祭では和太鼓や琴、落語など和文化を堪能できるステージ企画が開催されました。出演者のパフォーマンスや衣装からも和の魅力を感じられます。

スペシャルゲスト



2025年の着京祭では着物研究家のシーラ・クリフ氏を特別ゲストとしてお呼びし、着物企画のメンバーとのトークショーを通して、着物に対する想いやご経験を伺いながら、着物をもっと身近に楽しむアイデアをお届けしました。

はみだしすてーじ

試験怖すぎ。しかし休みも一瞬で去るのだろう……
⇒計画的に勉強していなかったことを毎回後悔しています。
（理・２　どどど）
（今期こそはコツコツと；編）

はみだしすてーじ

桜餅食べたい
⇒春といえば桜餅ですよね！
（文・１　ゆき）
（今年は自分でも作ってみたい；編）

2026年度の京都着物企画

2026年度、着物企画は新たな取り組みに挑戦しようとしています。今年度のテーマは、「せっかく京都に来たんだし！」。着物をより身近に感じられるようなイベントをたくさん企画しているそうです。このページでは、そんな着物企画に取材した今年度の活動をご紹介します！

年間予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新歓	着物レク	着物レク	夏祭り	夏合宿	Kistory	ハロウィンパーティ	紅葉狩り	クリスマスパーティ	着物レク	着京祭準備	着京祭、春合宿

活動方針

その一 楽しむ

まずは自分たちが着物を楽しむ！毎月着物レクを企画・開催して着物に親しむ機会を増やしていきます。季節のイベントに合わせたり、小物等でコーディネートを楽しんだりと、現代の生活に着物を取り入れていきます。



その二 学ぶ

着物産業は今、生産量の減少や後継者不足など厳しい現状に直面しています。現場のリアルを知り、それを発信することが着物を次世代に継承するために重要です。着物づくりに携わる方々のお話を聞く機会を増やします。



その三 繋ぐ

新たな世代へ着物を繋ぐ架け橋となれるよう、2026年度も着物譲渡会を開催します。さらに、着物の新たな活用法としてリメイク小物の製作にも取り組みます。ポーチやカバンなど、着物の端切れを再利用した小物を考案します。



夏祭りや紅葉狩りの際に浴衣や着物を着たり、ハロウィンやクリスマスなど西洋のイベントにも着物を取り入れたりと季節ごとの企画を考えています！

着京祭も新たな形での開催を検討しています。一年の集大成として、展示・発表をメインにしたイベントを３月に開催予定です！

はみだしすてーじ

あとで後悔すると分かっているのに、空きコマがあるとつい授業を入れたくなる。
⇒効率がいいように見えて、実はただ忙しくなるだけ……

（理・１　おじぎの神）
（特にテスト前は後悔の嵐；編）

着物企画のオフ

着物でおでかけ

@貴船神社⛩



@清水寺



着物企画では、自分たちで着物の知識を学んだり、着物を楽しんだりする機会も大切にしています。上回生が新入生に対して着付けの仕方を教える着付け練習会や、着物のルールや豆知識の勉強会を開いています。さらに、実際に自分たちで着物を着て京都の観光地を散策するなど、着物を身近に感じる時間を楽しんでいます。

着付け練習の様子



合宿

合宿では着物の活動からは少し離れ、レクリエーションや観光を通してメンバー同士の親睦を深めています。

夏合宿@和歌山



アドベンチャーワールドに行った後、海で遊んだり、BBQをしたりしました！

春合宿@淡路島



ニジゲンノモリでゲームの世界を体験し、あわじ花さじきで自然を感じました！

最後に

着物企画のイベント情報はSNSにて随時発信されています！　ご興味のある方は、是非チェックしてみてください。また、運営メンバーも回生問わず募集しているそうです。着物が好きな方、イベント企画に興味がある方は参加を検討してみてはいかがでしょうか？

Gmail：kimonokikaku@gmail.com

▲着物企画公式X　▲着物企画公式Instagram　▲着京祭Instagram

はみだしすてーじ

リュックが深すぎてものがどこに行ったかわからなくなる
⇒ショルダーバッグとてもおすすめです。

（農・４　ふなずし）
（目指せミニマリスト；編）